

立春を迎えて “Here comes the Sun”

校長 芳崎 正道

2月となり、4日には立春を迎えます。立春は「二十四節気*1」の一つで、「春の始まり」を意味します。（「立」は中国語で「始まる」という意味です。）立春の期間には、「東風解凍（はるかぜこおりをとく）」「黄鶯睨院（うぐいすなく）」「魚上氷（うおこおりにのぼる）」という三つの「七十二候*2」があります。漢字が並んでいると、一見難しそうですが、意味がわかれば具体的に季節のありようを伝えていることがわかります。春風が吹いて川などの氷が解け出し、ウグイスがホーホケキョと鳴き始め、張った氷が薄くなり、そこから魚が飛び跳ねている、という情景で、いずれも春の到来を感じさせてくれるものです。



シクラメン（職員玄関）

***1【二十四節気（にじゅうしせつき）】**
一年を四つの季節に分け、太陽の位置を元に、さらにそれぞれを六つにわけたもので、季節を表す言葉として用いられる。
***2【七十二候（しちじゅうにこう）】**
古代中国で考案された季節を表す方式の一つ。二十四節気をさらに約五日ずつの三つに分けた期間のこと。各七十二候の名称は、気象の動きや動植物の変化を知らせる短文になっている。

立春を迎える今、思い、願うことがあります。

英語科教員の頃、授業の冒頭で、英語の歌を生徒とともに歌い、英語学習の雰囲気づくりをしていたことがあります。立春の時期によく歌っていたのが “Here comes the Sun” です。

この曲は、長く厳しい冬に耐え、温かな日差しを浴び、春の訪れ・到来に、安堵・喜びを感じた気持ちを表している、とされています。新型コロナウイルス・オミクロン株感染拡大の今、この歌詞が改めて心にしみる思いです。長く厳しい冬も必ず終わり、

Here comes the Sun	The Beatles	作詞・作曲: ジョージハリスン (歌詞の一部を引用、和訳は筆者)
... it's been a long cold lonely winter		長く、寒くて心細い冬だったね
... it feels like years since it's been here		随分前からずっとこんな感じだった気がする
Here comes the Sun		ほら お日様がでてきた
It's all right		もう大丈夫だ
... the smiles returning to their faces		みんなに笑顔が戻ってきている
... it seems like years since it's been here		笑顔そのものが随分久しぶりな感じだ
... Sun, Sun, Sun, here it comes		お日様が、太陽が、日差しが、差し込んできた
... I feel that ice is slowly melting		氷がゆっくりと溶け始めているのを感じる
... it seems like years since it's been clear		まるでお日様を忘れていたかのような

り、春が訪れ、太陽も、必ず私たちに顔を出してくれる。長く厳しいコロナ禍も、いつか必ず収束の出口が見えてくる。必ず、私たちの前に光が差し込んでくる。そう願い、信じていきたいと思えます。

さて、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」、また、3学期はあっという間に過ぎると言われるとおり、1月が終わると残りの登校日数は40日を切ります（3年生は30日を切ります）。感染防止の徹底のため、保護者参観なしなど、制限のある取組が続きますが、日々の授業・諸活動を大切にしながら学年の総まとめを、特に3年生は、義務教育の総まとめをし、進路開拓に向けてまっしぐらの時期となります。このまま、みんなで元気に2月も乗り越えたいものです。保護者の皆様・地域の皆様の温かい御理解・御協力・御支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。